

熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について

熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を次のように改正する。

熊本市長 幸山政史

熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

第1条 熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成19年条例第8号）  
の一部を次のように改正する。

第9条第2項及び第11条第2項中「100分の155」を「100分の170」  
に改める。

別表中「375,000」を「377,000」に、「424,000」を  
「426,000」に、「477,000」を「479,000」に、  
「541,000」を「542,000」に、「617,000」を  
「618,000」に、「721,000」を「722,000」に、  
「844,000」を「845,000」に改める。

第2条 熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を次のように改正す  
る。

第9条第2項及び第11条第2項中「100分の122.5」とあるのは  
「100分の140」と、「100分の137.5」とあるのは「100分の170」  
を「、6月に支給する場合においては100分の122.5、12月に支給する場  
合においては100分の137.5」とあるのは「100分の155」に改める。

附 則

（施行期日等）

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各

号に定める日から施行する。

(1) 第1条中熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例第9条第2項及び第11条第2項の改正規定 平成26年12月1日

(2) 第2条の規定 平成27年4月1日

2 第1条の規定による改正後の熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(次項において「改正後の条例」という。)別表の規定は、平成26年4月1日(次項において「適用日」という。)から適用する。

(給与の内払)

3 適用日からこの条例の施行の日の前日までの間において、この条例による改正前の熊本市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の規定に基づいて支給された給与は、改正後の条例の規定による給与の内払とみなす。

(提出理由)

一般職の給与改定の実施等に伴い、特定任期付職員の給与の改定をするため、所要の改正を行う必要がある。

これが、この条例案を提出する理由である。